



しいたけ普及指導情報 第35号

収穫・乾燥、植菌作業など、大変、お疲れ様です。今年の作柄はいかがでしょう。3月中旬まで続いた低温気候と2～3月の雨の多さが気になるところです。

1 第6回東部地区乾しいたけ品評会の開催

当地区の県・全国乾椎茸品評会での上位入賞を目指し、今年も開催します。

(1) 審査

平成24年4月24日(火) 13時～17時 会場:国東市役所安岐総合支所(国東市安岐町中園)

(2) 表彰式・講演会

平成24年4月26日(木) 9時30分～12時 会場:国東市役所安岐総合支所(国東市安岐町中園)

【表彰式】…9時30分～10時40分

(第5回東部地区ほだ場コンクール表彰式もあわせて実施します)

【講演会】…10時50分～12時

講師: 大分県椎茸農業協同組合 参与 久々宮 栄次 氏

演題: 「乾しいたけの情勢と選別」

(3) 出品基準

- ① 平成24年春子乾しいたけとする。
- ② 量目は、一品800gとする。
- ③ 銘柄 … どんこ、こうこ、こうしん

皆さんの多数の出品、ご参加をお待ちしています！

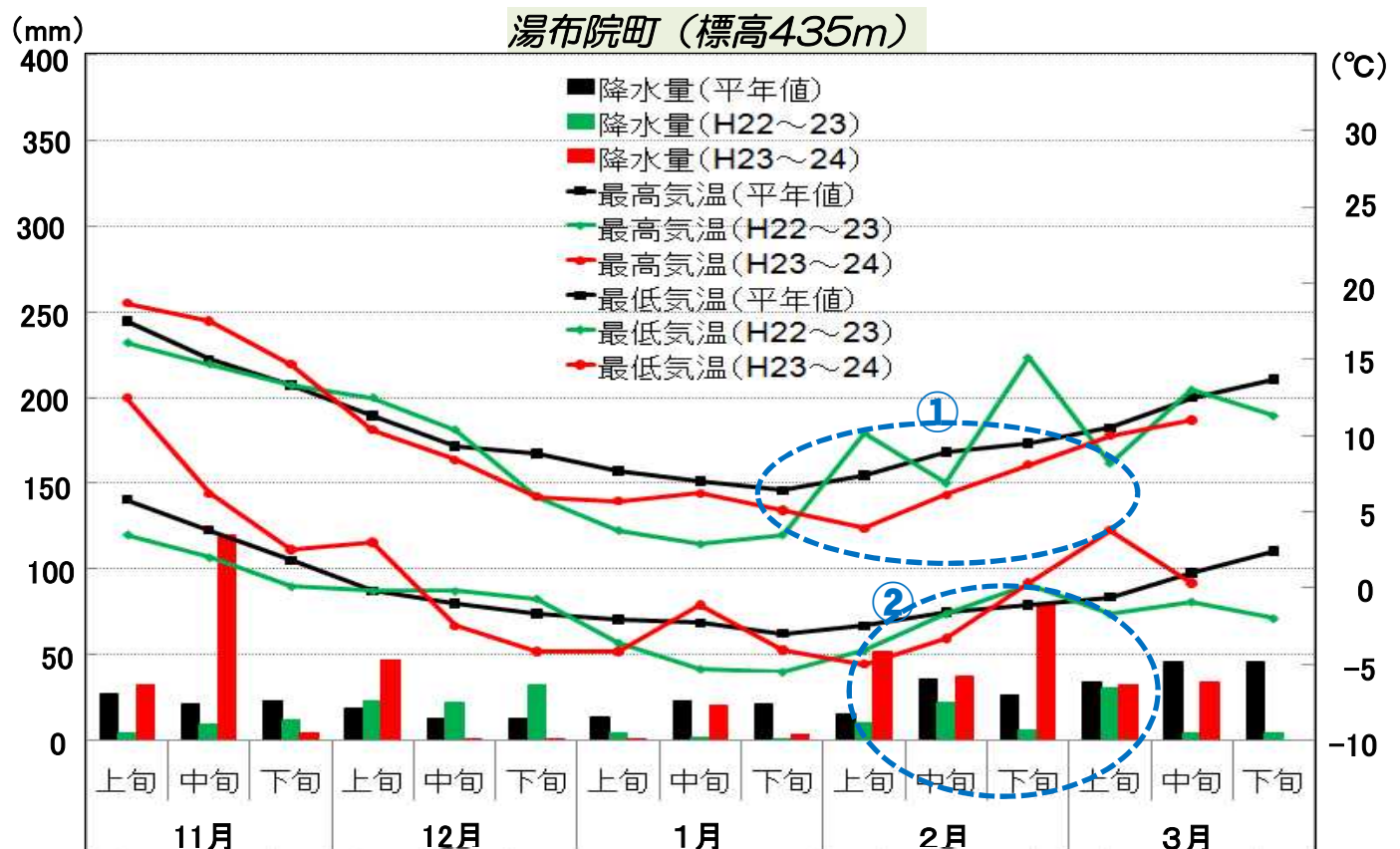
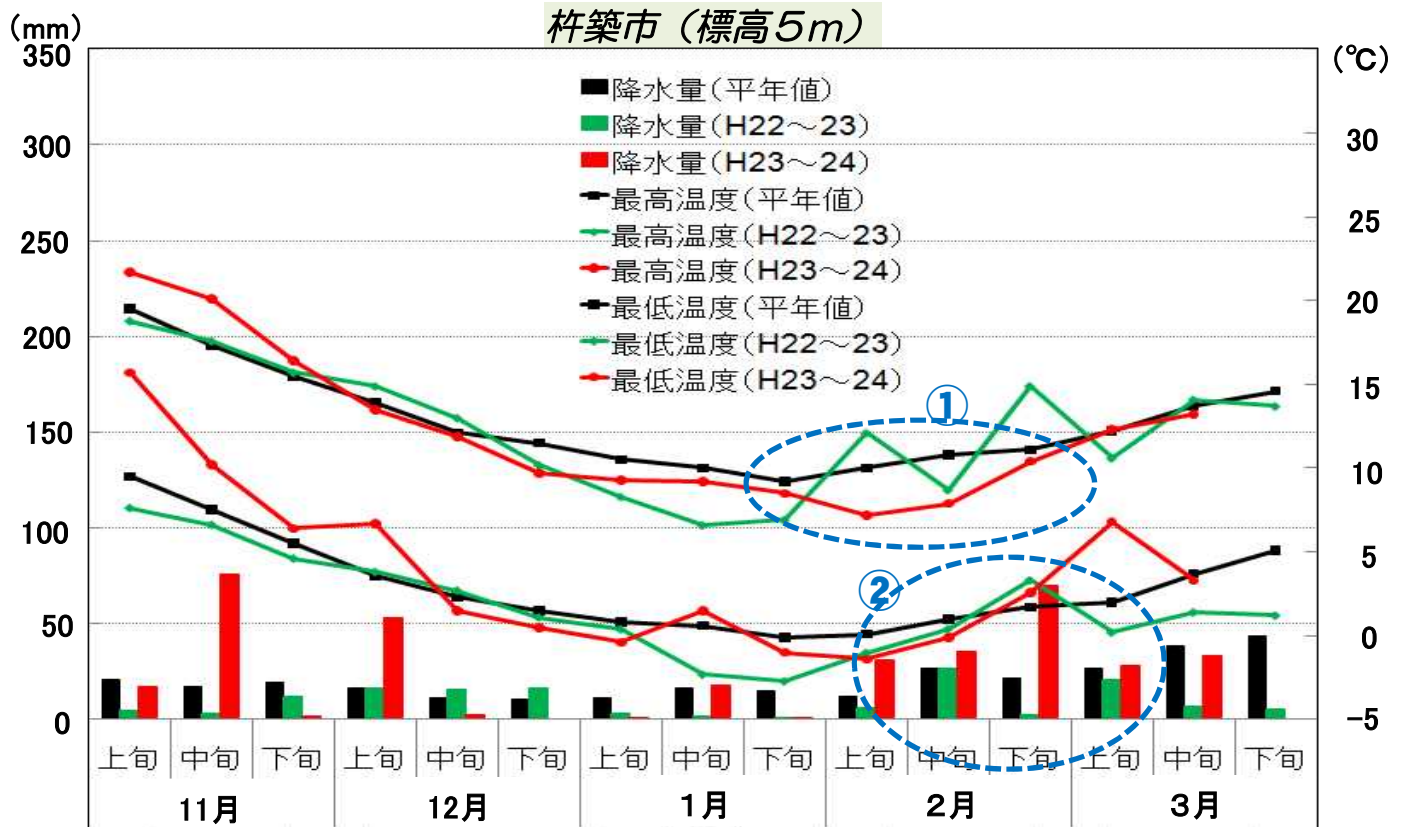


2 気象推移（旬毎）について

下図の左の目盛りは降水量、右の目盛りは気温を示します。今年の気象は赤印です。

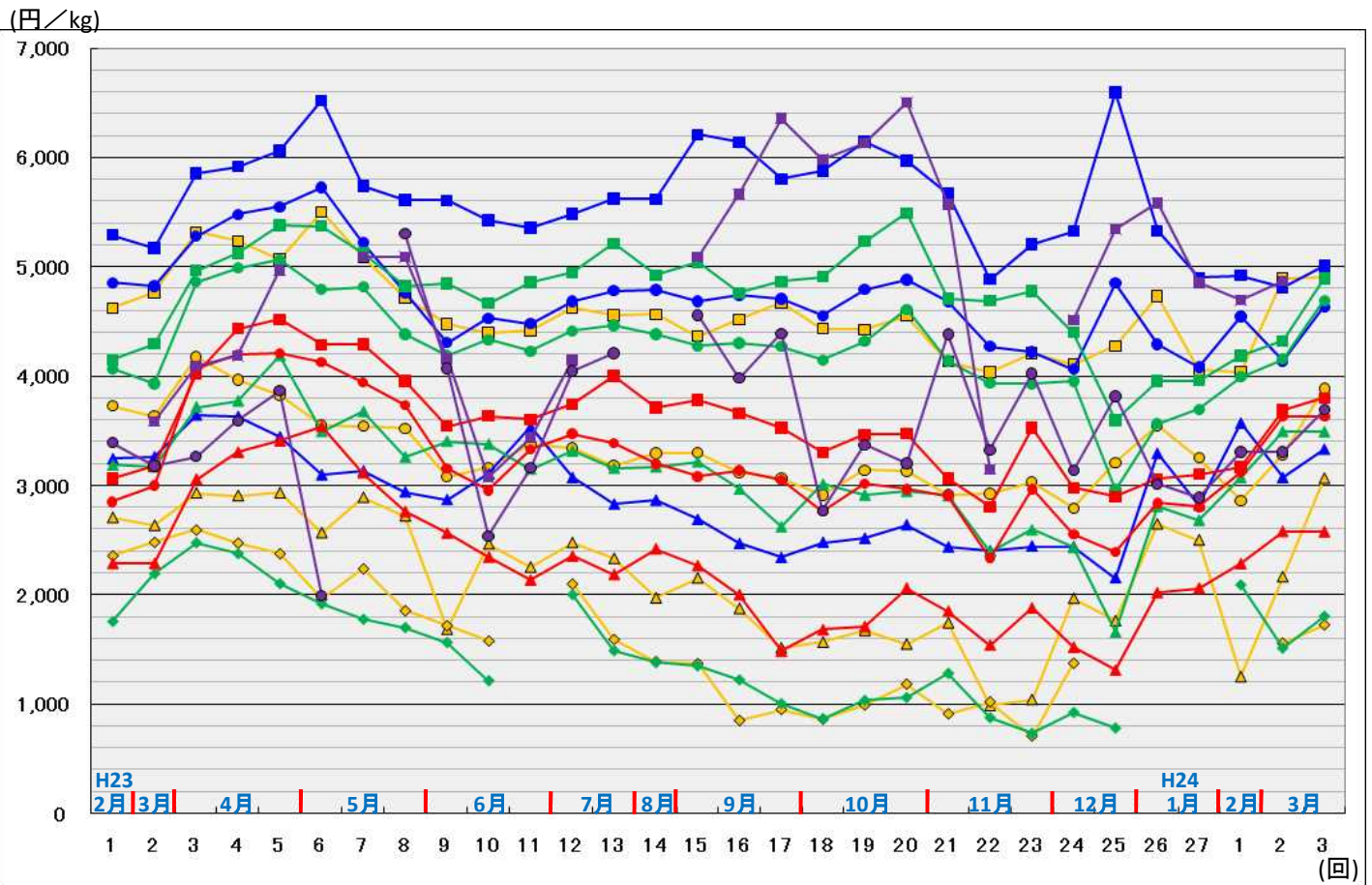
1～2月にかけて冷え込みが長く続き(図①)、2005年の冬期(05年12月～06年2月)以来の寒い冬となりました。降雨については2～3月にかけて多い状態で推移しました(図②)。

県きのこグループが継続的に実施している主要3品種の3月上旬までの発生量調査によると、2月から発生が見られる近年の傾向とは異なり、2月の発生はかなり少なかったが、3月上旬には平年より多い収穫となり、今シーズンの累積発生量は前年より多いが平年よりやや少ない状況です。管内も平年作より少なく感じてます。追加の芽切りに期待したいところです。

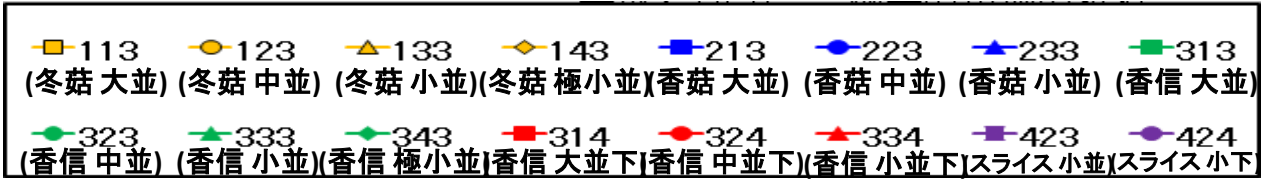


3 品柄別単価

このグラフは平成23年からの椎茸農協における並品以下の品柄毎の市況です。



凡例...



小葉系、バレ葉系の品柄が値を戻してきており、3月27日に開催された第3回入札では、平均単価が3,984円になりました。

冬菇の小並(133)と極小並(143)に価格差ができております。選別作業の参考にしてください。

4 第5回東部地区ほだ場コンクール

2月29日(木)に開催し、最優秀賞は国東市武蔵町の野田徹城さんに決定しました(写真①、②)。

7点のほだ場を出品いただきましたが、どのほだ場も素晴らしいものばかりでした。

第6回東部地区乾椎茸品評会の会場でパネル展示させていただきます。ご協力ありがとうございました。



路網を整備
作業性が向上

林齢(樹高)の異なるスギ、ヒノキ林が混在するため明るいほだ場となっている。枝打ちや間伐も実施している。



写真③国見町岐部さん

傾斜地を活用。間伐・枝打ちによる明るさ対策、鉄線・網などによるシカ対策。



写真④国東市西田さん

シカ対策として反射テープ、点滅ランプ、ネットを使用。



写真⑤安岐町村上さん

シート被覆、袋掛けで良品づくり。(冷え込みが続いた今シーズンは大活躍)



写真⑥山香町加藤さん

ほだ場は明るく、緩傾斜であり作業性に優れている。



写真⑦別府市大野さん

ほだ場面積、傾斜を考慮しながらほだ組みを決定。(今回、最も明るかった竹林ほだ場)



写真⑧大田河野さん

大径木の間伐を実施した明るいほだ場。作業性良好。

5 お知らせ

平成22・23年度、椎茸農協国東地区婦人部がしいたけ料理教室を実施した国東高校の「青山みなみ」さんが、「大分県しいたけ料理コンクール」において最優秀賞を受賞し、3月6日、東京都で行われた「全国きのこ料理コンクール」に出場しました。(優良賞受賞)



乾しいたけの消費拡大のために頑張ってくれました。



審査状況

青じそ、鶏肉をしいたけではさんだ「しいたけとり天」

大分県東部振興局 農山漁村振興部 林業・木材・椎茸班
担当：坂本（国東市エリア） 伊藤（別府市杵築市日出町エリア）